



やまばと

令和7年12月24日

文責 校長 小松原 知子



郷土を愛し、心豊かで心身共にたくましく、生き生きと学ぶ東部っ子の育成
・すすんで学習・心と体をきたえて何事にもチャレンジ・自分も友達も大切に

最高の笑顔と力で駆け抜けた二学期～二学期に輝いた「三つの宝物」～

カレンダーも最後の一枚となりました。一年の中で最も長く、多くの行事があった二学期が本日、無事に幕を閉じました。今朝、終業式を迎えた子どもたちの表情を見渡すと、そこには大きな行事をやり遂げた自信と、日々の学びを積み重ねてきた充実感が溢っていました。

今学期の終業式にあたり、私は子どもたちに、子どもたちがこの二学期に手に入れた「三つの宝物」について話をしました。

一つ目は、「挑戦する勇気」です。運動会やふれあい文化祭など、正解のない問い合わせに対して、失敗を恐れずに挑む姿が随所に見られました。「難しいけれどやってみよう」という粘り強い取り組みは、結果以上の自信という果実を子どもたちの心にもたらしたはずです。二つ目は、「友達を思いやる心」です。授業の中で互いにアドバイスを送り合ったり、給食や掃除の際にごく自然に助け合ったりする姿が、校内の至る所で見られました。誰かのために動く優しさが、本校をまるで一つの大きな家族のような、温かい場所にさらに変えてくれました。三つ目は、「責任感」です。自分の係や当番活動を最後までやり遂げることはもちろん、高学年を中心に、誰かに言われる前に「今、何をすべきか」を考えて行動できる場面が増えました。この自律する心こそが、次なるステップへの大きな原動力となります。

明日から始まる冬休み、私は子どもたちに二つの「宿題」を出しました。

一つは、何にも代えがたい「命」を守ることです。交通安全や健康管理に留意し、自分の命を自分で守る意識を持ってほしいと伝えました。もう一つは、「心の充電」です。冬休みは家族の一員としての役割を果たす絶好の機会でもあります。家のお手伝いに汗を流したり、静かに読書に没頭したり、あるいは新年の目標をじっくりと考えたり……。デジタルな画面から少し離れ、心と体をたっぷりと休ませ、豊かな感性を養う時間を過ごしてほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今学期も本校の教育活動に多大なるご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。一年の節目に、ぜひお子様の頑張りを認め、たっぷりと褒めてあげてください。それが三学期への、そして新しい学年への最大のエネルギーとなります。皆様、どうぞ健やかで、穏やかな新年をお迎えください。始業式、ピカピカの笑顔で子どもたちと再会できることを楽しみにしております。

「もちつき会」へのご協力、心より感謝申し上げます。

12月13日に行いました「もちつき会」では、多くの保護者の皆様に前日の準備から当日の運営までご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。皆様の温かなご支援のおかげで、子どもたちの笑顔がはじける、活気あふれる楽しい会となりました。力強く杵を振るい、ついたもちを丸め、おいしくいただきながら伝統行事に親しんだ経験は、子どもたちにとって二学期のすばらしい締めくくりとなりました。

なお、今回は「もちつき会」の日程を変更させていただきました。保護者の皆様には柔軟にご対応いただき重ねて御礼申し上げます。今後のよりよい学校行事運営のため、日程や当日の進め方につきまして、皆様のご意見やご感想をぜひお聞かせください。

また、地域・保護者の皆様には「門松づくり」でもご尽力いただきました。立派な門松が校舎を飾り、学校は清々しい新年の準備が整いました。伝統行事やこうした環境づくりに支えられ、子どもたちは豊かな心で二学期を終えることができます。皆様の温かなご支援に、心より厚く御礼申し上げます。



かけがえのない「いのち」を見つめて

11月28日に講師の中村先生をお招きし、「いのちの授業」を行いました。授業の中で、中村先生が語られる命についてのお話を、子どもたちは真剣な眼差しで聞き入り、「いのち」という目に見えないけれど最も大切な命について、深く思いを巡らせていました。

この授業に際し、保護者の皆様にはお子様の「名前の由来」をお寄せいただきました。ご多用の中、温かいメッセージをご準備いただき、誠にありがとうございました。自分が名づけられた時の家族の願いや、誕生を待ちわびていた家族の思いに触れた瞬間、子どもたちの表情はパッと輝き、中には感動で目を潤ませる姿も見られました。「自分は愛されている存在なんだ」という実感は、子どもたちの自己肯定感を育む何よりの栄養となります。

また、当日参観いただきましたことにも御礼申し上げます。共に命について考える時間を共有できましたこと、大変うれしく思っております。子どもたちが自分の命を、そして周りの人の命を大切にできる心優しい人へと成長していけるよう、学校でも引き続き寄り添ってまいります。ご家庭でもぜひ、この授業をきっかけに、改めてお子様への想いを言葉にして伝えていただければ幸いです。

| 子どもたちの感想 | 保護者の方の感想 |
|---|---|
| <p>♡私はドラムをしています。私の夢は、バンドをすることです。ドラムを使って、バンドをして、私の「いのち」を輝かせていきたいです。これからも家族や友だちに感謝を伝えたいと思いました。</p> <p>♡「いのち」は、多くの人の支えで生きられているとわかりました。「いのち」をもっているということは奇跡だとわかったので、自分が奇跡の「いのち」をもっていることに感謝したいと思いました。家族は、私に思いをこめて、大切に育ててくれたんだなと思いました。これから自分の「いのち」を輝かせていきたいです。</p> | <p>♡中村先生の体験談やお孫さんの話を聞いて、子どもたちに「たった一つしかない大切な命」を感じてもらえたのではないかでしょうか。私も泣きそうでした…。我が子も産まれてきたとき大変だったので、改めてその話をしようと思いました。</p> <p>♡命の大切さはわかっているつもりでも、忙しい日々を過ごす中で、なんとなくぼんやりしがちです。改めて再認識する機会を与えてくださってありがとうございます。家族、周囲の方々のおかげで生かされている。それに感謝する。その意識をもっているだけで、行動や心の持ちようが変わって、輝く人生を送れるんだと改めて思いました。</p> |



1月の行事予定

- ・ 4日(日) 鬼火小屋竹取り
- ・ 5日(月) 鬼火小屋竹取り予備日
- ・ 8日(木) いじめ・いのちを考える日
始業式
- ・ 9日(金) 給食開始
- ・ 10日(土) 鬼火小屋づくり
- ・ 14日(水) 北山校交流
- ・ 15日(木) 三瀬小交流(5・6年)
- ・ 16日(金) 北部保育園交流(1・2年)
- ・ 19日(月) 読み語り
- ・ 21日(水) 育友会保護者会・山村留学実行委員会
- ・ 25日(日) 鬼火たき・ふれあいぜんざい会
新入学説明会・新入学児童との交流
- ・ 26日(月) 振替休日(25日分)